

研修会報告

子どもたちのために 先生方が主体的・協働的に学ぶ研修会

置賜地区情報モラル研修会

8/5 (金) 置賜総合支庁西庁舎 講堂



NPO法人企業教育研究会事務局長の市野敬介氏をお招きして標記研修会を開催しました。

市野氏には、タブレットを準備していただき、実機体験を通して、インターネットトラブルに巻き込まれないようにするための機能制限や、正しく有効な使用方法を子どもと一緒に考えることで判断力を高めることの大切さ等を具体的に分かりやすく教えていただきました。

また、模擬授業も行っていただき、情報モラルについて子どもたちに考えさせたいポイントや授業展開の方法、ワークシートなど、即実践に生かせる内容をご提示いただきました。

今後、各校の実態に応じた指導に生かせるヒントをたくさんいただくことができました。

～参加された先生方の声～

- ・機能制限の設定は、複雑で難しいのかと考えていましたが、実際に操作することで意外と簡単にできるものだとわかった。
- ・子どもたちに情報機器の使用を禁止するばかりではなく、「～した方がよい」と気付かせることや有効的な使用方法と一緒に考えることが大切であるということが大変参考になった。
- ・今回の講習会の内容を先生方や保護者の方々に伝え、一緒に考えていきたいと思う。

管内教務主任研修会

9/28 (金) 置賜総合支庁西庁舎 講堂

一つ目の研修は、置賜教育事務所 半田和彦所長による講話を行いました。題を「教務主任に期待すること」とし、日々の仕事を行ううえで大事にしたいことをお話しました。教務主任の仕事を“作物を育てること”に例え、タネをまく(＝仕掛ける、意図する、やりたいことを持つ)ことが特に重要だということ等の期待を述べる内容でした。

続いて、山形大学地域教育文化学部の野口徹准教授より、「探究型学習を推進するうえでの教育課程編成のポイント～カリキュラム・マネジメントをどのように機能させるか～」についてご講義いただきました。講義では、次期学習指導要領の改訂のポイントと、そこで求められる資質・能力を身に付けるために、探究型学習の視点でのカリキュラム・マネジメントや授業改善をどう進めていくか、実践事例を交えながらわかりやすく説明いただきました。



～参加された先生方の声～

- ・所長のお話をお聞きし、教務主任の仕事について少し立ち止まって考えることができました。
- ・これまでの取組を大事にしながら、改めて“主体的・対話的で深い学びになっているか”という視点で見直していきたいと思う。
- ・教育課程編成の際には、地域とのかかわりをどう授業に生かしていくのか考えていくことや、“気づきのレベル”を上げていくことにつなげる体験活動をしっかりと位置付けていきたい。

初任者研修 “少年自然の家等における宿泊研修”

8/2 (火) ~ 4 (木) 飯豊少年自然の家 他

猛暑の中、飯豊少年自然の家の全面的なご協力のもと、小・中学校の初任者に置賜管内の県立高等学校、県立米沢養護学校の初任者を加え、2泊3日の宿泊研修を行いました。

始めに、飯豊少年自然の家所長より自然体験活動の意義についてご講義をいただきました。自然体験活動がコミュニケーション能力や学力とも関わりがあること、また指導者の役割は、子どもの「体験」を「経験」に昇華させ日常生活に生かすことができるようにすることだと、教えていただきました。

今回の研修のメインは“置賜再発見”でした。グループごとに立てた計画に従い、公共交通機関等を利用して置賜の文化に触れました。神社・仏閣、博物館、企業、農園、工芸体験と、訪問先は様々でしたが、過半数を占める置賜管外出身者をはじめ、全員が初任地である置賜の素晴らしさを知るよい機会となりました。

この研修の一番の成果は、初任者同士の“絆”ができたことです。3日間寝食をともにする中で、日頃の喜びや悩みを共有し、同じ初任者の立場で語り合うことができました。今回参加した44人の「チーム置賜」の絆は、この先長く続く教員人生の支えとなるはずです。



教職5年経験者研修 教育事務所における研修

9/8 (木) 米沢市すこやかセンター 他

5年経験者研修は、「特別活動」を軸に、望ましい人間関係づくりや魅力ある学級づくりの研修を行っています。本研修会は、初任者研修第2回課題研究会と合同開催とし特別活動及び学級づくりについて5年経験者と初任者がともに学ぶ場として設定しました。

授業研究では、米沢東部小荒木あさみ先生、米沢北部小渡邊裕介先生、高畠中菊地哲郎先生に「学級活動(1)における話し合い活動」の授業を提供いただきました。議題選定の工夫、意見を比べ合うポイント、折り合いをつけた合意形成、教師の適切な支援等、子ども達の姿を通してよりよい話し合い活動の在り方について学ぶ貴重な機会となりました。

講義では、昨年度に引き続き國學院大學教授の杉田洋先生をお招きして「アクティブ・ラーニングと学級づくり」をテーマにお話いただきました。学級活動や学級づくりの様々な実践例を通して「人を育てること」「集団の力を高めること」について深く学ぶと共に、子ども達を信じ、期待し、潜在能力を引き出し、育てていく、そんな「子どもの頑張りを応援する教師」であり続けたいと、教師としての決意を新たにすることができました。



~参加された先生方の声~

- ・授業参観では、子ども達が自分の考えを伝えたり、用具の準備や掲示等細かい手立てが行き届いていたりしていて、参考にしたいことがたくさんあった。
- ・子どもの力を信じていきたい。これほど感動した講義は初めてだった。
- ・5年研を通して「話し合い活動」と向き合うことができとても良かった。これからも実践を積み上げていきたい。